

## 令和元年度麻布大学同窓会東北ブロック会議開催報告

去る令和元年11月9日（土）、麻布大学同窓会東北ブロック会議を宮城県仙台市にて開催いたしましたのでご報告いたします。

今年度から宮城県支部 川向和雄支部長が東北ブロック選出理事に就任したことから宮城県支部が事務局を担当することになりました。

例年になく暖かい秋の深まりを感じる杜の都仙台において、同窓会本部からは麻布大学同窓会獣医部会代表を兼務する有賀 誠副会長、大学から来賓として浅利昌男学長にご臨席賜り、東北の各支部役員11名が出席し、開催となりました。

開会に先立ち浅利学長から、本校は第三者機関の公益財団法人大学基準協会から厳しい基準に合格し認定されたことの報告を受けました。教育の質・実績などトップレベルであることを内外に示す事ができたことのお言葉を頂戴しました。

有賀副会長からは、同窓会における支部会の役割の重要性について熱く語られ、参集メンバーも心強く感じました。

東北ブロックでは、新規の同窓会員数の減少と維持会員の支部活動への参加減が共通課題ですが、各支部の活性化を図る工夫などが紹介され、刺激をうけました。また、大学側と卒業生の情報をできるだけ共有し在学中から同窓会との繋がりを意識した取り組みを行うよう検討されました。

最後に、今年で任期満了となる学園評議員は福島県の小栗山先生から青森県の佐々木 亨先生に担当が移ることを確認し、令和元年度の報告を本部へする事を確認しました。

今後も、東北各県支部の情報共有と今後の同窓会活動と本学との連携を深めるため、新会員の発掘や登録など、さらに取り組んで参りますので、引き続き同窓会本部及び大学からのご指導とご支援よろしくお願いたします。

（文責 事務局 佐藤俊郎 昭和51年卒）

